

西箕輪保育園

住所：伊那市西箕輪3900-138 定員：170名

地元のカラマツを使って建てられた園舎、草木の茂る斜面を活かした園庭、園周辺のたくさんのお散歩コースなど自然豊かな環境です。小中学校と隣接し、伊那養護学校とも近いので、さまざまな交流活動を行い豊かな心を育んでいます。獅子舞やメの子作りなど地域の方のご協力をいただき、伝統文化に触れる活動をしています。

脳生き生き交流
手作りおもちゃと一緒に
あそぼう!



木育(木工職人さん)
色々な素材・道具を使って作ろう!

メの子作り
日本の伝統を受け継ごう!



い〜なぐるぐるっ子 「園庭は宝の山」

探りたがる
試したがる
エピソード

草木の茂る斜面がある園庭は、四季を通じて子どもが学べる材料がたくさんある宝の山。その園庭で、子どもたちは、自然や物や人に直接かかわって、その体験から生まれる“気づき”を深めながら学んでいます。草花や昆虫を採って楽しむだけでなく、「どうしてここにカブトムシが集まるんだろう?」「アリの巣の中はいったいどうなっているんだろう?」「そり滑りで遠くまで滑るには、どんな姿勢がいいんだろう?」そんな子供たちの探求心を見逃さず、「ほんとに不思議だよね。」「どうしたらいいんだろうね。」と共感しつつ、ちょっとしたヒントをさりげなく伝える関わりを大切にしています。

こういう事なんだ!!



樹液が
出てる
ように...



テントウムシが
かくれんぼ
してるよ



大きな
切り株の下は
アリの
マンション



保育士のコメント!

夏の朝は、登園すると、朝の支度を素早く終え、カブトムシ採りが始まります。「先生、カブトムシ、この蜜のところをいたんだよ。」と言う子どもの言葉から、樹液に集まるカブトムシの習性、どうやったら樹液が出るのか、どんな木にも集まるのか、どんな天気の日が採れるのか、風の強さはどうか...など、子どもたちと一緒にわくわくしながら楽しみました。樹液には、アリもたくさん集まってきて、次の探索につながります。この経験をもとに、楽しい集まりでは「ありとキリギリス」を楽しく演じた子どもたちでした。

